

TCPREFUSE または REJECT アクセス規則が動作していることはどうすれば確認できますか。

目次

[TCPREFUSE または REJECT アクセス規則が動作していることはどうすれば確認できますか。](#)

TCPREFUSE または REJECT アクセス規則が動作していることはどうすれば確認できますか。

環境：Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)、AsyncOS のすべてのバージョン

TCPREFUSE および リジェクトはブロックされたメール フロー ポリシーと普通関連付けられる 2 つの接続動作です。これらのアクセス規則はかどうか通知 (ハードなバウンス) のリモートホストからのメッセージをブロックするためにまたは単に接続をドロップするために選択することを可能にします。 [リジェクトと TCPREFUSE の違いはであるもの参照して下さいか。](#)

リモートホストは TCPREFUSE か リジェクトが廃棄された原因であるかどうか判別することを望んだら、メール ログの View エントリできます。メール ログは冗長な接続ロギングがイネーブルになっている場合その時だけ TCPREFUSE のためのエントリが含まれています。さらにパケットレベルでメッセージ交換を監察するのにプロトコル アナライザを、tcpdump のような使用できます。プロトコル アナライザを使用した場合、TCPREFUSE のための異なるメッセージ交換に vs リジェクト注意します。

リジェクト接続のための ESA とリモート Message Transfer Agent (MTA) 間の TCP 接続フローはこれのようです:

```

Remote MTA -----> SYN
Remote MTA -----> ESA
Remote MTA -----> SYN, ACK
ESA -----> Remote MTA
Remote MTA -----> ACK
Remote MTA -----> ESA
Remote MTA -----> 5XX Code
ESA -----> Remote MTA
Remote MTA -----> FIN, ACK
ESA -----> Remote MTA
Remote MTA -----> ACK
Remote MTA -----> ESA
Remote MTA -----> FIN, ACK
Remote MTA -----> ESA
Remote MTA -----> ACK
ESA -----> Remote MTA
```

TCP 肩接続のための ESA とリモート MTA 間の TCP 接続フローはこれのようです:

```
Remote MTA -----> SYN
Remote MTA -----> SYN, ACK
Remote MTA -----> ACK
Remote MTA -----> RST, ACK
Remote MTA -----> RST, ACK
```